

119番受付の主な特徴

1 119番受付全体は3,118件増加 受付のうち災害救急通報は3,444件増加 …3頁1参照

平成28年の問い合わせ等を含めた119番受付全体は102,508件で10万件を超え、前年(99,390件)より3,118件増加しています。受付のうち災害救急通報は79,540件で、前年(76,096件)より救急出動等の増加に伴い3,444件増加しています。

また、各種問い合わせなどの緊急性のない119番通報が18,638件で全体の約18%を占め、前年(19,058件)より420件減少しています。

なお、1日あたりの受付件数は280件(前年272件)で、約5分8秒に1件の割合で受け付けをしています。

2 119番通報種別(災害・救急)について全体の約7割が「救急」関係 …3頁1参照

通報種別による災害・救急受付件数の主なものとしては、「救急」76,216件(74.4%)、「警戒(ベル鳴動や油漏洩など)」1,858件(1.8%)、「火災」883件(0.9%)、「救助」537件(0.5%)となっており、昨年に引き続き、全体の約7割が「救急」関係の通報となっています。

3 電話別119番通報状況 携帯電話が固定電話を上回る …3頁2参照

電話別119番通報件数は、固定電話からの通報が46,026件(44.9%)、携帯電話からの通報が56,473件(55.1%)となり、携帯電話が固定電話をやや上回っています。

Eメール(登録制)やFAXによる救急要請も9件も受信しています。

4 救急車が到着するまでの間の応急手当を口頭で指導 …3頁3参照

市民からの救急要請時、出動指令をするとともに、救急車が現場に到着するまでの間、通報者から傷病者の状態を聴取し、気道の確保や胸骨圧迫など症状に応じた口頭による指導を速やかに行い、救命率の向上に努めています。

口頭指導の件数は1,355件で、「心肺蘇生」が978件、次いで「AED」が166件、「その他(異物除去、止血法、熱傷手当等)」が211件の順となっています。

また、心肺停止の傷病者が発生した事案(疑い含む)等、救急隊のみでは救急活動に必要な人手が不足すると判断した場合は、救急車と同時に消防車等を出動(PA連携出動)させ、救急隊の支援活動にあたらせています。